

① 施工前の確認事項（特に1階の床）

- ・ 無垢材の性質上伸縮を防ぐために開梱した状態で最低1週間放置し現場の環境（湿度）に馴染ませてください。
- ・ 基礎のコンクリートや根太、下地の合板は十分に乾燥していなければなりません。
- ・ コンクリートは手で触ってみて乾いているか、根太、合板は乾燥材を使用しているかを確認してください。
* 床下の換気、乾燥が十分でない場合、施工後に暴れ・床鳴り等が発生する恐れがありますので床下の通風は十分に行ってください。

② 仮並べ

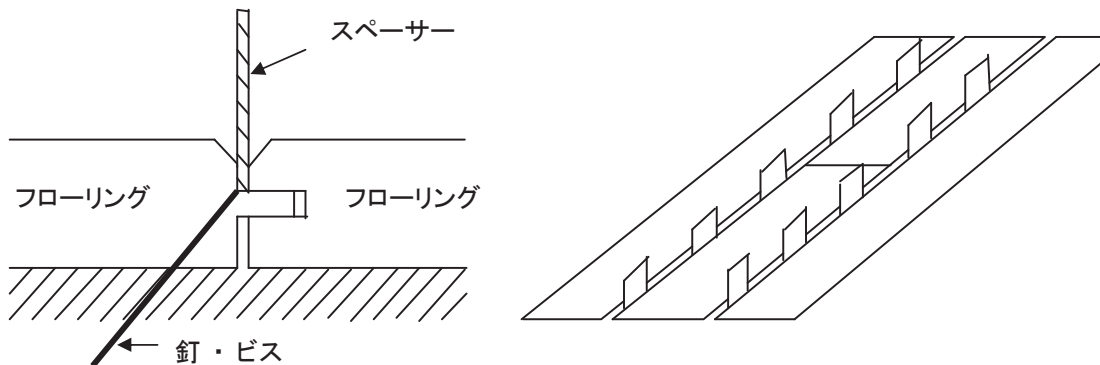
- ・ 天然木のため、貼り始める前に仮並べをし、色や柄のバランスをとり施工してください。

③ 下地施工

- ・ 必ず厚さ12mm以上の耐水合板を下張りしてください。
* 健康配慮のため合板はF☆☆☆☆レベルをお使いください。
- ・ 床下の湿気が多い場合は0.1mm厚以上の防水シートを根太と捨て貼り合板の間に敷き込んでください。

④ 貼り込み

- ・ 実を強く叩き込みすぎると膨張時に反りが生じる場合がございますので「つく」（名刺1枚程度はさみこむ）程度とし、部分的に隙間が生じて叩き込まずそのまま貼り上げてください。
* 商品出荷時にスペーサーを同梱しますので、施工方法に従って施工してください。



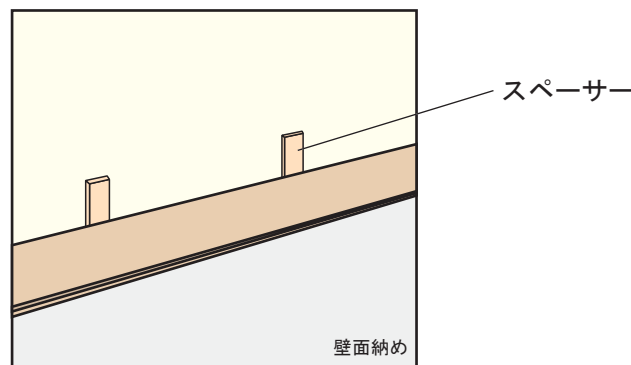
- ・ 施工は糊釘併用で行い、下貼りを通して根太上に打ち、固定してください。（特に、オーク・メープル・バーチ等の堅木で幅100mm以上のフローリングについては**ビスと糊で確実に固定をしてください**。）接着剤は床鳴りや、きしみを防止する強力な弾力系のアクリルまたは、ウレタン系木質床用をご使用ください。
* 木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂エマルジョン系）は床鳴りの原因になりますので、絶対に使用しないでください。

ポイント

接着剤は一箇所にかたまった状態で塗布すると、下地とフローリングの間に隙間が生じ床鳴りなどの原因となりますので、平滑に塗布してください。

⑤ 壁面・はきだし窓・敷居の納まり

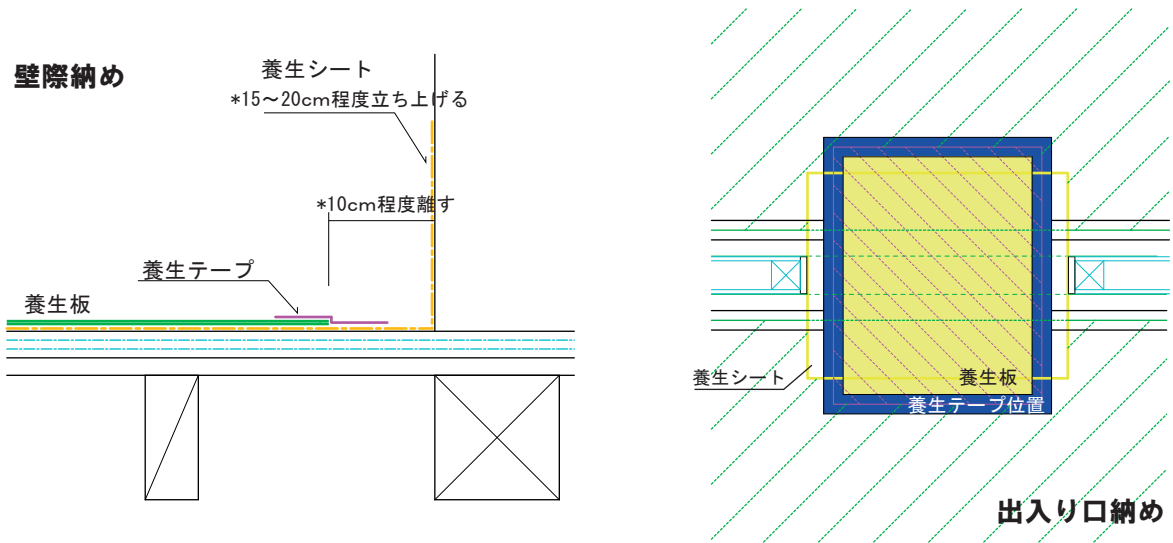
- ・ 壁面はフローリングの樹種が針葉樹5mm・広葉樹10mm以上の隙間を設けて密着せず幅木で隠してください。



- ・ はきだし窓、敷居の納めは必ずクリアランスをとり、はき出し窓部分にはコーキング処理をしてください。
* 床材がサッシに直接触れると結露がしみ込んで、反り・狂い・シミの原因になります。

⑥ 養生

- ・ オイル仕上げなど浸透性塗料の場合は、フローリングに直接養生テープを貼らないで下さい。
(表面の仕上剤が剥がれたり、粘着材が付着する事で汚れや変色の恐れがあります。)



⑦ メンテナンス お引渡し前、お引渡し後（お施主様にも…）

- ・ オイル仕上げなど浸透性塗料で仕上げたフローリングの場合は水拭きはしないで下さい。
(床材の白濁、膨張となり塗装剥がれ、毛羽立ちの原因にもなります。)
- ・ ウレタン及びラッカー系で仕上げたフローリングも含め、弊社がお勧めする専用メンテナンス用品をお使い下さい。

ポイント 【 オイル仕上げフローリングの取り扱いについて 】

植物オイルはウレタンのように表面を皮膜するものではなく、木材繊維に沿ってどんどん浸透していく特性のものです。施工経過時間、施工中の養生などの状況により表面の木目が「ケバ立つ」「艶が無くなる」など変化がおきる可能性があります。施主様にお渡しする前に必ず純正メンテナンスソープ又はオイルにてクリーニングを施すようお願いいたします。また、2~3ヶ月に一度クリーニングをすることにより自然の風合いが長時間保たれます。

注意事項

お引渡し後、お施主様に…

- ・ 無垢フローリングの表面は、紫外線に直接当たる箇所は色が褪せてきますので、できるだけ直射日光は避けて下さい。
- ・ 雨漏り、水こぼしは、染みの原因になりますので、速やかに拭き取って下さい。
- ・ 醤油やケチャップなど色の付いた汚れは、洗剤で速やかに拭き取って下さい。
いったん深く染込みますと取れませんのでご注意下さい。
浅い場合は#240程度のサンドペーパーでサンディングをした後、フロアオイルをすり込みながら塗布して下さい。
- ・ 机や椅子の脚にはフェルトを貼ってご使用ください。
キャスター付の椅子の場合は、カーペット等を部分敷きして下さい。
- ・ 温風ヒーター・ストーブ等の熱が直接当たるような使い方は避けて下さい。
- ・ フローリング上にホットカーペットを敷く場合は、直接、フローリング上に敷かないでください。
熱がこもり、フローリングの変形の原因となる恐れがあります。
同様に、低温床暖房対応のフローリングはカーペット等を敷くと、フローリングの変形の恐れがありますので、敷かないでください。